

北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていけるまち 「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。 北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。 **Vol.13**



令和5年度第1回 北区認知症フレンドリー検討委員会を開催しました!

6月26日(月)に令和5年度第1回認知症フレンドリー検討委員 会を開催しました。これまでの振り返りと、今年度の北区認知症フレ ンドリーアイデアミーティングについて検討しました。

これまでの振り返り -

〈本人のつどい〉

最近の本人のつどいでは本人さんが安心して話せるようになってきた と感じています。本人のつどいの参加者の方から、「本人のつどいが 大切な場所、みんなに会えるのが楽しい」というお言葉をいただきま した。🛨

〈令和4年度アイデアミーティング〉 令和4年度は「お出かけ編」をテーマ にアイデアミーティングを開催しまし た。実際にアイデアミーティングに参 加した委員の方は、「一緒に体験する と、言葉だけでは分からないことも分 かる、理解できると感じた。」とおっ しゃっていました**



今年度のアイデアミーティングについて

今年度のアイデアミーティングのテーマは

「社会参加・はたらく」です。

認知症本人のやりたいことを実現できる地域づくりをめざし、デ イサービス事業所などを中心に、認知症になっても、地域・社 会・仲間とつながり、活躍できる場づくりを検討し、実践につな げていきたいと考えています!☆

〇今年度の取組予定

第1回 8月18日(金)「認知症になってもはたらく!!」

第2回 10月(予定)

「(仮)介護事業所における社会参加・就労的活動のススメ」

第3回 11月(予定)

「(仮)先進地域から学ぶ居場所づくりのコツ」

通常のデイサービスでは、 家では自分でドライヤーを使って いる方も全部やってもらう。 本当はできる人がお客様扱いされ ると、できていたこともできなく なってしまう。さらにはやっても らえないことに不満さえ感じると いうことが起きてしまう。

BLG! デイサービスの 事例紹介から



ポイントは話し合い。 効率的ではなく、一見 無駄に見える話し合い をすることが必要に なっていると感じる。

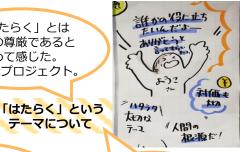
委員の皆様から 様々なご意見をいただきました!

事業の方向性

事業も4年目に入り、今までの 出会いを活かして地域で取組み を展開するフェーズに入ったと 思うと感慨深い。

「はたらく」とは 人間の尊厳であると 改めて感じた。 大切なプロジェクト。

テーマについて



与えられたものを受 け取るのではなく、 「自分で選択でき る」という人生を送 りたい。

名古屋市北区役所福祉課地域包括ケア推進担当 岡嶌・齋藤 **8** | 052-917-6575 □ a9176521@kita.nagoya.lg.jp

当日の グラフィック・レコーティング (一部)

